

神奈川シニアリーグ 熱中症対策

2018 年 4月 1日一部改訂
神奈川シニアリーグ 会長 新倉 隆
競技委員長 黒川康至

対策:

期間 7 月から9 月の間 シニアリーグ独自の「Cooling Break」を設定する。

「Cooling Break」設定方法:

- 1、前後半1 回ずつ、それぞれの半分の時間が経過した直後のアウトオブプレー時に
2 分間の「Cooling Break」を設定し、選手・審判員の休息を促す。
- 2、選手はベンチにて休み、飲水や氷・アイスパック等で身体を冷やす。

留意点:

- 1、原則として試合の流れの中で両チームに有利・不利が生じないような
アウトオブプレー時に主審が判断して設定する。
- 2、審判員も休息をとり、2 分間のタイムキーパーは4 審が行う。
- 3、「Cooling Break」時間内の戦術的な指示を許容する。
- 4、インスペクターと4 審はベンチ内を監督し、試合再開時には選手を速やかに
ポジションに戻るよう促す。
- 5、「Cooling Break」に要した時間は前後半それぞれの時間に追加される。
但し、四十雀は時間的制約のためこの期間は25 分ハーフとする。
- 6、「Cooling Break」時の交代は、主審が Cooling Break の笛を吹く前に選手交代の
手続が完了していれば、再開の笛を吹く前に認める。
- 7、試合当日開始前に、健康を障害するような異常な暑さがある場合は
インスペクター・主審・競技委員等で相談の上、
「雷雨時の対応と処置について」に準じて延期できる。

補足:

- 1、「Cooling Break」は2 分ですので4 審は1 分半ぐらいで選手・審判員に元のポジ
ションに戻るよう促す。
- 2、「Cooling Break」時ベンチ内は出場選手と控え選手が混在しますので控え選手は
必ずビブスを着用させて下さい。
- 3、1 年を通して審判員の帽子を許容しますが、万が一選手と接触しても危険がない
ものに限りです。
- 4、該当期間(7 月から9 月)以外は飲水タイムで対応する。

以上